

一帯一路構想と日本・世界の対応

中国政府の提唱している一帯一路構想（BRI）は賛否両論を伴いながら、数々のインフラ整備や物流などのプロジェクトが実施されるなど着々とした進展が見られ、世界に大きなインパクトを与えている。懐疑的な姿勢を取った先進諸国の中でも、次第に重い腰を上げ積極的な関与に転換するところが増え、日本政府も中国と第三国市場で協力する方針を決めている。日本の産業界では、一帯一路を成長機会と捉えるべきといった意見が高まっているが、本格的な参入には至っていない。日本および世界は一帯一路構想にどう対応すべきか。この問題の研究に注力されている二人の専門家の洞察と展望を聞く。

日時

2019年 **6月1日** **土** 13:00～17:00（開場12:30）

会場

法政大学 市ヶ谷キャンパス
ボアソナード・タワー25階 研究所会議室5

挨拶

13:00～13:05

李 瑞雪（法政大学イノベーション・マネジメント研究センター所長、経営学部教授）

講演1

13:05～14:50

「一帯一路構想：アジアと世界へのインパクト」

大西康雄（アジア経済研究所 上席主任調査研究員）

講演2

15:00～16:50

「一帯一路構想とTPP11の融合によるアジア地域協力を考える」

金 堅敏（富士通総研 主席研究員）

コメント

16:50～17:00

李 瑞雪

申込方法

下記専用サイトからお申込みください。

<https://bit.ly/2IVLB61>

※申込締切：5月27日（月）



参加費：無料

定員：先着40名

定員に達し次第締切

お問い合わせ

法政大学イノベーション・マネジメント研究センター

TEL : 03-3264-9420 E-mail : cbir@adm.hosei.ac.jp

URL : <http://riim.ws.hosei.ac.jp>



プロフィール (敬称略)

大西 康雄 (おおにし やすお)

独立行政法人 日本貿易振興機構 (ジェトロ) アジア経済研究所
新領域研究センター 上席主任調査研究員



早稲田大学政治経済学部卒業。1977年 アジア経済研究所入所。在中国日本国大使館専門調査員、海外調査員 (中国社会科学院工業経済研究所・客員研究員)、地域研究センター長、ジェトロ上海センター所長、新領域研究センター長を経て、2013年より現職。専門は、中国経済、中国の対外経済関係、中国の物流業、中国の地域発展。

著書に『東アジア物流新時代—グローバル化への対応と課題』(共編著、アジ研選書No.8、アジア経済研究所、2007年)、『中国 調和社会への模索—胡錦涛政権二期目の課題』(編著、情勢分析レポートNo.9、アジア経済研究所、2008年)、『習近平政権の中国—「調和」の次に来るもの』(編著、情勢分析レポートNo.20、アジア経済研究所、2013年)、『習近平時代の中国経済』(単著、情勢分析レポートNo.24、アジア経済研究所、2015年)、『習近平「新時代」の中国』(編著、アジ研選書No.50、アジア経済研究所、2019年)ほか。

金 堅敏 (ジン ジャンミン)

富士通総研 経済研究所 主席研究員・博士 (国際経済法)



専門は、通商政策、中国経済・産業、ニューエコノミーとデジタルイノベーション。中国浙江大学大学院 (1985年7月) / 横浜国立大学国際開発研究科修了 (1997年3月)。

主な著作に『図解でわかる中国有力企業と主要業界』(日本実業出版社、2010年)、『中国 創造大国への道 ビジネス最前線に迫る』(共著、文眞堂、2017年)、『自由貿易と環境保護: NAFTAは調整のモデルになるのか』(風行社、1999年)、“The Changing Currents of Transpacific Integration: China, the TPP, and Beyond” (共著、Lynne Rienner Publishers、2017年)ほか。